

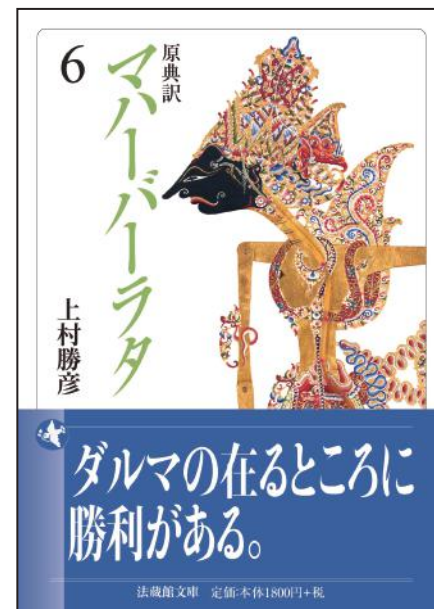
【法蔵館文庫】

原典訳 マハーバーラタ 6

インド古典

かみむら
かつひこ
上村勝彦訳

▼文庫判・並製カバー・473頁・定価一、九八〇円



古代インドに産声を上げ、いまお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。【全8巻】

2026年4月刊行

【6巻あらすじ】ダルマの地・クルクシェートラに集結したクシャトリヤの大軍勢。敵陣に居並ぶ一族らを目にしたアルジュナは、「私は戦わない」と宣言し戦車の中に座り込む。クリシュナはアルジュナを立ち上がらせるため、結果への執着を捨てて行為することを説く（『バガヴァッド・ギーター』）。老将ビーシュマの猛攻にパーンダヴァ軍は苦戦。アルジュナはシカンデインを先立たせビーシュマを戦車から射落とすが、ビーシュマは矢の床に生き続ける。

【目次】

家系図

主要登場人物

マハーバーラタ関連地図

- 第6巻 ビーシュマの巻（ビーシュマ・パルヴァン）
- (61) ジャンブー大陸の創造（第一章―第十一章）
 - (62) 地上界（諸大陸の詳説）（第十二章―第十三章）
 - (63) バガバッド・ギーター（第十四章―第四十章）
 - (64) ビーシュマ殺害（第四十一章―第百十七章）

【訳者略歴】

上村勝彦（かみむら かつひこ）

一九四四年、東京浅草に生まれる。一九六七年、東京大学文学部卒業。一九七〇年、同大学院人文科学研究所（印度哲学）修士課程修了。サンスクリット詩学専攻。元東京大学東洋文化研究所教授。

主な著訳書に、『屍鬼二十五話』（平凡社東洋文庫）、『カウティリヤ実利論』（岩波文庫）、『インド神話』（ちくま学芸文庫）、『始まりはインドから』（筑摩書房）、『インド古典演劇論における美的経験』（東京大学出版会）、『バガヴァッド・ギーター』（岩波文庫）、『インド古典詩論研究』（東京大学出版会）、『真理の言葉・法句経』（中央公論新社）などがある。

二〇〇三年、逝去。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法蔵館	上村勝彦訳
定価 一、九八〇円	原典訳 マハーバーラタ 6
住所	お名前
	お電話
ISBN : 978-4-8318-2718-0 C0198	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp